

福岡ブロック社会教育委員研修会 参加報告

10月17日に開催された福岡ブロック社会教育委員研修会では、社会教育の担い手育成と活動の持続可能性をテーマとした実践的な内容が展開されました。

1 パネルディスカッション・事例報告

研修会では2つの自治体から具体的な取り組み事例が報告されました。

粕屋町社会教育委員の会による発表では、「地域学校協働活動を通した社会教育委員の人材育成」をテーマに、地域学校協働活動の実践を通じて社会教育委員の資質向上を図る取り組みが紹介されました。この発表では、実践的な活動を通じた人材育成のアプローチに焦点が当てられました。

大野城市社会教育委員の会からは、「家庭教育学級事業の担い手の意識を高め、新たな担い手を育て、持続させている取り組み」について報告がありました。この取り組みでは、運営委員の負担軽減と参画意識の向上を図りながら、学級生を増やし、次世代の担い手を確保することで、家庭教育学級事業の継続と拡大を実現する具体的な方策が示されました。

2 講演

西九州大学副学長の上野景三教授による講演「社会教育における次世代育成のために」では、実践事例を支える理論的な背景が体系的に解説されました。講演内容は、社会教育委員の基本的な仕組みと職務、地域社会の変化への対応、そして社会教育における次世代育成の必要性と意義について、わかりやすく構成されていました。

3 研修会の意義と成果

この研修会全体を通じて明らかになったのは、社会教育分野における「担い手の育成」と「持続可能な仕組みづくり」という2つの重要な課題でした。パネルディスカッションでは現場の実践的な工夫と成果が共有され、講演では理論的な裏付けが提供されることで、参加者にとって実践と理論の両面から学びを深める機会となりました。各地域の先進事例と学術的な視点を組み合わせることで、社会教育の次世代への継承と発展に向けた具体的な示唆が得られた有意義な研修会でした。